

令和7年度 県立総合教育センター 第25回～第48回公開講座

申込方法

- (1) まず、研修実施日（開始日）の1週間前までに、県立総合教育センター企画調査課にお電話ください。（TEL:0795-42-3101）
- (2) 次に、右のメールアドレス（E-mail: k-open@hyogo-c.ed.jp）宛てに、所属、名前、連絡先、受講を希望する回および演題を記載し、送信してください。
- (3) 当総合教育センターでメールの受信を確認しましたら、受講に関する詳細を後日連絡します。

講座内容

回	内 容
第25回 申込締切日 9/5(金)	【オンライン（VOD）による受講となります。】 演 題：高等学校における「統計的な内容」の充実をめざした授業づくり 日 時：令和7年9月12日（金）～9月26日（金） 講 師：立正大学 教授 渡辺 美智子 氏 渡辺 美智子（わたなべ みちこ）氏は、統計・データサイエンス教育を御専門とされ、日本統計学会、国際統計学会、応用統計学会などに所属されています。前学習指導要領の改訂に際しては、データの活用・分析に関する統計的内容の拡充に向けて尽力され、また、全国統計指導者講習会や県教育委員会主催の研修講義などを通じて、高等学校数学科教育の円滑な実施に寄与されてきました。さらに、大学における統計科学・データサイエンス教育の課題と展望については、著書『数理科学教育の現代的展開』にて論じられており、高等学校における数学科・情報科との連携によるデータサイエンス教育の体系化や、統計検定（DS 基礎試験）による分析力評価の枠組みについても、雑誌『統計』にて提言されています。 今回は、「高等学校における『統計的な内容』の充実をめざした授業づくり」と題して、高等学校数学科として求められる統計教育の在り方や、生徒がデータを読み解き活用する力を育む授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(高) 数学科教育講座－『統計的な内容』の充実をめざして－」の講義を兼ねています。
第26回 申込締切日 9/5(金)	【オンライン（VOD）による受講となります。】 演 題：科学的に探究するために必要な資質・能力の育成 日 時：令和7年9月12日（金）～9月26日（金） 講 師：京都教育大学 名誉教授 村上 忠幸 氏 村上 忠幸（むらかみ ただゆき）氏は、京都教育大学教育学部の名誉教授として活躍されています。理科教育（自由で協働的な探究学習の実践とその評価）、教師教育（コーチング、省察、ファシリテーション）、化学生態学（アゲハチョウの産卵刺激物質）と多岐にわたって研究され、近年は、深い学びを実現する探究学習のための教員の資質・能力に関する研究に取り組まれています。また、「高校生による科学的問題解決における仮説形成過程の評価に関する研究」など多数の論文を発表されています。このような業績が評価され、日本化学会より第49回化学教育賞（2025年3月）が授与されました。 今回は、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業の在り方について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(高) 理科教育講座－探究の過程を取り入れた観察、実験の授業づくり－」の講義を兼ねています。

第 27 回 申込締切日 9/19(金)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり 日 時：令和 7 年 9 月 26 日（金） 9：50～12：00 講 師：熊本大学大学院 教授 菊池 哲平 氏 菊池 哲平（きくち てっぺい）氏は、日本学術振興会特別研究員 PD、熊本大学准教授を経て、現在は熊本大学大学院教授として教鞭をとられています。発達障害、特に自閉症スペクトラム障害のある子どもの障害特性の理解と支援方法を中心に研究しながら、地域の学校現場における授業づくりや、学級づくりへの助言に携わられています。『授業 UD 新論－UD が牽引するインクルーシブ教育システム』や『Q&A で学ぶ インクルーシブな学級づくり&授業づくり－多様性を包摂する授業 UD の視点から』等、多くの書籍を執筆されています。 今回は、「ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり」と題して、全ての児童生徒等が理解しやすいように配慮したユニバーサルな授業づくりや合理的配慮の提供を前提とする授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり講座－合理的配慮の提供を前提とする授業づくり－」の講義を兼ねています。
第 28 回 申込締切日 9/24(水)	【オンライン（VOD）による受講となります。】 演 題：考える楽しさを創る「特別の教科 道徳」の授業をめざして－対話的な学びを通して児童生徒が感銘を受けるとは－ 日 時：令和 7 年 10 月 1 日（水）～10 月 15 日（水） 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 谷田 増幸 氏 谷田 増幸（たにだ ますゆき）氏は、広島市立中学校、広島市立高等学校の教諭として教鞭をとられた後、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官を経て、現在は兵庫教育大学大学院教授として活躍されています。2023 年度から道徳教育研究開発センター長、上廣道徳教育アカデミー総括監督者を兼任され、学会関係においても日本道徳教育方法学会会長として道徳教育の発展に寄与されています。 また、中央教育審議会初等中等教育分科会の専門委員や、文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年度告示）解説 特別の教科 道徳編』の協力者等を務められ、本県でも道徳教育実践推進協議会委員長として御尽力いただいております。 今回は、「考える楽しさを創る『特別の教科 道徳』の授業をめざして－対話的な学びを通して児童生徒が感銘を受けるとは－」と題して、対話的な学びを通して児童生徒が感銘を受ける道徳科授業の在り方について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小中)「特別の教科 道徳」授業実践講座－考える楽しさを創る授業づくり－」の講義を兼ねています。

第 29 回 申込締切日 9/26(金)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：実践的・体験的な学習活動における指導と評価の一体化 日 時：令和 7 年 10 月 3 日 (金) ～10 月 17 日 (金) 講 師：兵庫県立大学 教授 池田 雅則 氏 池田 雅則 (いけだ まさのり) 氏は現在、兵庫県立大学看護学部教授を務めておられます。看護学部では養護教諭養成や教養教育に携わっておられ、教育学を専門に近代日本の教育史や生涯学習、専門職教育に関する研究に従事されています。 また、教育学の視点から看護職のキャリア形成支援にも取り組んでおられ、看護管理者が自身のキャリアを振り返り、将来を展望する手法として生涯キャリアヒストリー法の研究を進められておられます。 今回は、「実践的・体験的な学習活動における指導と評価の一体化」と題して、教育学の知見を活かした看護職養成における授業設計や、学びの質を高める評価のあり方について御教示いただきます。理論と実践を架橋する視点から、日々の教育実践を見直し、より深い学びへとつなげるヒントを得る貴重な機会になることと思います。 なお、この公開講座は「(高) 看護科教育講座－実践的・体験的な学習活動の充実－」の講義を兼ねています。
第 30 回 申込締切日 9/26(金)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成 －統合的な言語活動を通して－ 日 時：令和 7 年 10 月 3 日 (金) 9:50～12:00 講 師：関西大学 副学長 竹内 理 氏 竹内 理 (たけうち おさむ) 氏は、英語教育学、応用言語学が御専門で、カリフォルニア州のモントレイ大学院を修了されました。帰国後、関西大学総合情報学部助教授等を経て、同大学の外国語学部外国語学科教授として活躍されています。また、本県の学力向上実践推進委員会委員、小学校外国語教育指導用映像資料作成検討委員会委員長を務められました。著書としては『達人の英語学習法－データが語る効果的な外国語習得法とは』『より良い外国語学習を求めて－外国語学習成功者の研究』等、多数執筆されており、国際研究誌にも論文が多数掲載されています。文部科学省検定英語教科書 (小中高) の執筆にも携わっておられ、日本の外国語教育に尽力されています。 今回は、「外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成－統合的な言語活動を通して－」と題して、学習指導要領の目標や内容に基づき、生徒の実態に応じた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり、統合的な言語活動を取り入れた授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は、「(高) 英語科教育講座－外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を高める授業づくり－」の講義を兼ねています。

第 31 回 申込締切日 9/29(月)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：算数科の授業づくりで大切にしたいこと ー一人一人の児童の数学的な見方・考え方を育む授業ー 日 時：令和 7 年 10 月 6 日 (月) ～10 月 20 日 (月) 講 師：神戸大学大学院 教授 岡部 恭幸 氏 岡部 恭幸（おかべ やすゆき）氏は、数学教育、数理認識論を御専門とされており、全国各地の学校において授業改善に大きく寄与されてこられました。 また、本県の学力向上実践推進委員会委員、ひょうごつまずきポイント指導資料作成検討委員会副委員長を務められるなど、教育実践を重視した研究活動が続けておられます。 今回は、「算数科の授業づくりで大切にしたいことー一人一人の児童の数学的な見方・考え方を育む授業ー」と題して、学習指導要領を踏まえ、児童の数学的な見方・考え方を育む授業づくりのために大切にしたいことについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小) 算数科授業実践講座ー『変化と関係』領域に関する系統性を踏まえた指導の充実ー」の講義を兼ねています。
第 32 回 申込締切日 10/2(木)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導 日 時：令和 7 年 10 月 9 日 (木) 9:50～12:00 講 師：神戸芸術工科大学 特任教授 大槻 和浩 氏 大槻 和浩（おおつき かずひろ）氏は、兵庫県立高等学校、特別支援学校教諭、特別支援学校長を経て、現在は神戸芸術工科大学特任教授として教鞭をとられています。また、一般社団法人二木会に所属され画家としても活躍され、第 9 回小磯良平大賞展大賞、文部科学大臣優秀教職員表彰等、数々の受賞をされています。 今回は、「特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導」と題して、全ての子どもが図画工作・美術を通してつくりだす喜びを味わうことができ、主体的に参加できる授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座ー豊かな創造活動を実現する授業づくりー」の講義を兼ねています。
第 33 回 申込締切日 10/7(火)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：主体的に探究する学習活動の工夫 ー科学的に探究する力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方ー 日 時：令和 7 年 10 月 14 日 (火) ～10 月 28 日 (火) 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 山本 智一 氏 山本 智一（やまもと ともかず）氏は、神戸大学教育学部を卒業後、神戸市立小学校、神戸大学発達科学部附属小学校教諭、宮崎大学教育文化学部准教授を歴任され、2014 年に兵庫教育大学大学院学校教育研究科の准教授として着任、2020 年から教授として活躍されています。 理科及び総合的な学習の時間の授業改善やカリキュラムに関する研究が御専門で、日本科学教育学会や日本理科教育学会において全国の理科教育の発展に寄与されています。また、兵庫教育大学が実施するスクールパートナーシップ事業において、兵庫県下の学校の教員を対象とした資質向上のための研修会で講師を務められる他、兵庫県における小学校理科授業改善研究事業での指導・助言ならびに学力向上実践推進委員会の委員として運営参加・支援をいただく等、兵庫県の理科教育の発展にも寄与してこられました。 今回は、「主体的に探究する学習活動の工夫ー科学的に探究する力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方ー」と題して、学習指導要領の考えに基づいて科学的に問題を解決する能力を育成する活動の充実について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小) 理科授業実践講座ー児童が主体的に問題を解決する授業づくりー」「(中) 理科授業実践講座ー生徒が科学的に探究する授業づくりー」の講義を兼ねています。

第 34 回 申込締切日 10/7(火)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる授業づくり 日 時：令和7年10月14日(火)～10月28日(火) 講 師：奈良大学 教授 木村 圭司 氏 木村 圭司(きむら けいじ)氏は、地理学、気候学が御専門で、GIS やリモートセンシングを応用した気候環境とその変化について研究されています。高等学校での地理総合必修化を受け、GIS を活用した教材の開発や高校での実践的な出張授業、高等学校の教員に向けた講演の開催等、地理教育において多大なる貢献をされています。また、高等学校用教科書『高等学校 新地理総合』(帝国書院)、『新詳 地理探究』(帝国書院)の編纂にも携わっておられます。 今回は、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる授業づくり」と題して、GIS を活用した実践的・体験的な学習活動における効果的かつ具体的な指導の在り方について御教示いただきます。学習指導要領のもとで、日々試行錯誤を繰り返しながら教育活動をされている現場の先生方へ、多くの示唆を与えてくださることを思います。 なお、この公開講座は「(高) 地理歴史科・公民科教育講座Bー社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる『地理総合』の授業づくりー」の講義を兼ねています。
第 35 回 申込締切日 10/9(木)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：障害のある子どものための性教育 日 時：令和7年10月16日(木)～10月30日(木) 講 師：神戸親和大学 准教授 瀬戸山 悠 氏 瀬戸山 悠(せとやま ゆう)氏は、九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター学術研究員、鹿児島大学特任教授、くらしき作陽大学講師、神戸親和大学講師を歴任され、2025年から神戸親和大学准教授を務めておられます。 今回は、「障害のある子どものための性教育」と題して、障害のある児童生徒等の発達段階に応じた性教育と性の課題を含めた問題行動に対する指導・支援について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「障害のある子どものための性教育講座ー障害特性や発達段階に応じた性教育ー」の講義を兼ねています。
第 36 回 申込締切日 10/16(木)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり 日 時：令和7年10月23日(木)～11月6日(木) 講 師：鳴門教育大学大学院 教授 山田 芳明 氏 山田 芳明(やまだ よしあき)氏は、吹田市立北山田小学校教諭、大阪教育大学附属平野小学校教諭を経て、2003年から鳴門教育大学講師となられ、現在は同大学院学校教育研究科教授として活躍されています。 美術科教育学が御専門で、その中でも小学校図画工作科教育に造詣が深く、国立教育政策研究所の学習指導要領実施状況調査結果分析委員や、評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者等を歴任されています。主な著書に『楽しい図画工作授業のつくり方(低、中、高学年編)』『かく たのしむ ひろがる クレパスの時間』等があり、全国の図画工作科や美術科に携わる教職員のみならず、子ども達や異なるジャンルの人々にも刺激を与え、つなぐ活動を数多く手掛けてこられました。 今回は、「造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり」と題して、表現と鑑賞を関連付けた指導方法や、児童生徒が自ら主題を生み出す授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小中) 図画工作科・美術科授業実践講座ー表現と鑑賞を関連付けた授業づくりー」の講義を兼ねています。

第 37 回 申込締切日 10/17(金)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：保護者は子どもの障害をどう受け止めていくか 日 時：令和 7 年 10 月 24 日（金） 9:50～12:00 講 師：神戸大学大学院 准教授 山根 隆宏 氏 山根 隆宏（やまね たかひろ）氏は、2016 年から神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授を務められ、発達障害をはじめとした障害のある子どもやその家族に対する理解や支援について臨床心理学的研究を行っておられます。特に、養育者の心理や家族支援、子どもの情動調整の問題とその支援に関する研究に取り組まれています。また、一般社団法人兵庫県公認心理師会の評議員、理事、研究委員会委員長としても活躍されています。 今回は、「保護者は子どもの障害をどう受け止めていくか」と題して、障害のある子どもを持つ保護者の心理状態を理解し、寄り添いながら適切に対応できる力について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「障害のある子どもをもつ保護者理解講座－学校と家庭とのパートナーシップ－」の講義を兼ねています。
第 38 回 申込締切日 10/17(金)	【オンライン（VOD）による受講となります。】 演 題：行動面、対人関係への指導・支援 日 時：令和 7 年 10 月 24 日（金）～11 月 7 日（金） 講 師：高知大学 講師 宮田 賢吾 氏 宮田 賢吾（みやた けんご）氏は、兵庫県立特別支援学校教諭を経て、2023 年から高知大学教育学部講師として教鞭をとられています。研究領域は、特別支援教育、応用行動分析学で、知的障害や自閉症スペクトラム症児への指導法に関する臨床研究に取り組んでおられます。また、「学校場面における知的障害者の行動問題への支援の実行度に関する文献的考察」をはじめ、知的障害者の行動問題に関する論文を発表されています。 今回は「行動面、対人関係への指導・支援」と題して、記録に基づく分析（ABC 分析）、行動の理由と推定（機能的アセスメント）及びそれらを踏まえた指導・支援について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「行動上の問題への対応講座－応用行動分析学に基づいた指導・支援－」の講義を兼ねています。
第 39 回 申込締切日 10/23(木)	【オンライン（VOD）による受講となります。】 演 題：地域資源を活用した教育実践と地域の振興 日 時：令和 7 年 10 月 30 日（木）～11 月 13 日（木） 講 師：神戸学院大学 講師 菊川 裕幸 氏 菊川 裕幸（きくかわ ひろゆき）氏は、農業教育、園芸科学、園芸療法、環境材料及びリサイクル技術が御専門です。京都大学博士課程を修了された後、兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科の客員研究員等を経て、現在は神戸学院大学現代社会学部現代社会学科講師として活躍されています。また、日本認知症予防学会、日本土壌肥料学会、人間・植物関係学会等の学会に所属され、現在、加東市まちづくり推進市民会議委員、人間・植物関係学会理事等を務められています。著書としては、『竹資源を活用した持続的な花き栽培を目指して』（分担執筆）、『現代農業 7 月号 竹サイレージで夏場の食欲増進、産卵率向上』（分担執筆）のほか、多数の論文を執筆されており、日本の農業教育等に尽力されています。 今回は、「地域資源を活用した教育実践と地域の振興」と題して、学習指導要領の目標や内容に基づき、生徒の実態に応じた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり、教科カリキュラム編成等を踏まえつつ、御自身の教育実践と地域の振興について御教示いただきます。 なお、この公開講座は、「(高) 農業科・水産科教育講座 B－地域資源を活用した授業づくり－」の講義を兼ねています。

第 40 回 申込締切日 10/30(木)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：不登校児童生徒と保護者に対する理解と支援 日 時：令和 7 年 11 月 6 日 (木) ～11 月 20 日 (木) 講 師：神戸親和大学 教授 松本 剛 氏 松本 剛 (まつもと つよし) 氏は、心理学を御専門とされており、特に臨床心理学、教育相談、人間性心理学等に関して様々な実践的な研究を進めておられます。大学教員になられる前は、大阪で高等学校の教員として教壇に立たれた経歴をお持ちでもあります。著書として『傾聴の心理学』『教育用語ハンドブック』『教師の総合的力量形成』等を執筆されています。 今回は、「不登校児童生徒と保護者に対する理解と支援」と題して、不登校状態にある児童生徒やその保護者に寄り添うための教育相談の視点等について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「不登校児童生徒支援と困難課題対応的の生徒指導講座－教育相談の視点を生かした児童生徒や保護者との関わり－」の講義を兼ねています。
第 41 回 申込締切日 11/13(木)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：生活や社会の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる 資質・能力の育成をめざして －音楽的な見方・考え方を働かせる授業づくり－ 日 時：令和 7 年 11 月 20 日 (木) 9:50～12:00 講 師：大阪教育大学 准教授 兼平 佳枝 氏 兼平 佳枝 (かねひら よしえ) 氏は、札幌市立中学校、北海道教育大学附属札幌中学校教諭、嵯山女学園大学教育学部専任講師を経て、2016 年から大阪教育大学教育学部准教授として活躍されています。 『音楽科－授業の理論と実践』(共著)や『音楽教育実践学事典』(共著)等、多くの著書を執筆されている他、近年においては音楽科授業における子ども間の協同の成立過程に関する教育実践学的研究に取り組まれる等、音楽科教育の発展に寄与されています。 今回は、「生活や社会の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成をめざして－音楽的な見方・考え方を働かせる授業づくり－」と題して、音楽科の指導と評価の在り方について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小中) 音楽科授業実践講座－『表現』領域の授業づくり－」の講義を兼ねています。
第 42 回 申込締切日 11/18(火)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：社会的事象を多面的・多角的に考察する力の育成に向けた指導と 評価の充実 日 時：令和 7 年 11 月 25 日 (火)～12 月 9 日 (火) 講 師：関西学院大学教育学部 教授 吉水 裕也 氏 吉水 裕也 (よしみず ひろや) 氏は、社会科教育、地理教育が御専門で、中学校・高等学校教員、兵庫教育大学理事 (副学長)、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教授等を経て、現在は関西学院大学教育学部教授として活躍されています。『本当は地理が苦手な先生のための中学社会地理的分野の授業デザイン&実践モデル』等の著書や論文を多数執筆されています。 今回は、「社会的事象を多面的・多角的に考察する力の育成に向けた指導と評価の充実」と題して、社会的な見方・考え方を働かせ、学習の問題 (課題) を主体的に追究・解決する活動の充実をめざした授業の在り方について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小) 社会科授業実践講座－『現代社会の仕組みや働きと人々の生活』の授業づくり－」「(中) 社会科授業実践講座－課題を追究したり解決したりする活動の充実をめざした授業づくり－」の講義を兼ねています。

第 43 回 申込締切日 11/25(火)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：児童虐待の問題と子どもの心理 日 時：令和 7 年 12 月 2 日 (火) ～12 月 16 日 (火) 講 師：神戸親和大学 教授 大島 剛 氏 大島 剛 (おおしま つよし) 氏は、臨床心理学、臨床発達心理学等が御専門で、長年、児童相談所において児童心理司として勤務された経歴をお持ちです。子どもたちの心を理解し、支援することについて研究されており、著書として『読んでわかる臨床心理学』(共著)、『子ども・家庭支援に役立つアセスメントの技とコツ』(共著)等を執筆されています。 今回は、「児童虐待の問題と子どもの心理」と題して、関係機関の役割や被虐待児童生徒の心理的影響面について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「被虐待児童生徒への理解と支援講座ーチーム学校による早期発見・早期対応ー」の講義を兼ねています。
第 44 回 申込締切日 12/ 2 (火)	【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：コミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けてー指導と評価の一体化に向けた授業づくりー 日 時：令和 7 年 12 月 9 日 (火) 9:50～12:00 講 師：関西大学 副学長 竹内 理 氏 竹内 理 (たけうち おさむ) 氏は、英語教育学、応用言語学が御専門で、カリフォルニア州のモントレイ大学院を修了されました。帰国後、関西大学総合情報学部助教授等を経て、同大学の外国語学部外国語学科教授として活躍されています。また、本県の学力向上実践推進委員会委員、小学校外国語教育指導用映像資料作成検討委員会委員長を務められました。著書としては『達人の英語学習法ーデータが語る効果的な外国語習得法とは』『より良い外国語学習を求めてー外国語学習成功者の研究』等、多数執筆されており、国際研究誌にも論文が多数掲載されています。文部科学省検定英語教科書 (小中高) の執筆にも携わっておられ、日本の外国語教育に尽力されています。 今回は、「コミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けてー指導と評価の一体化に向けた授業づくりー」と題して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための指導と評価の在り方について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(小) 外国語授業実践講座ー『話すこと (やり取り)』の言語活動を通してー」、「(中) 外国語授業実践講座ー『話すこと (やり取り)』の言語活動を通してー」の講義を兼ねています。
第 45 回 申込締切日 12/ 8 (月)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：授業内容の理解を助ける ICT 活用と障害種に応じた指導の充実につながる ICT 活用 日 時：令和 7 年 12 月 15 日 (月) ～令和 8 年 1 月 5 日 (月) 講 師：兵庫教育大学 教授 小川 修史 氏 小川 修史 (おがわ ひさし) 氏は、特別支援教育と教育工学を御専門にされ、特にコンピュータやタブレット、インターネットなどのテクノロジーをどのように活用すれば知的・発達障害の子どもの教育に寄与できるかを模索されています。また、未来志向のネクストユニバーサルデザイン (NextUD) の研究にも取り組まれ、障害のある方へのデザインのイメージから「ファッション」「デザイン」「教育」をテーマに多くの方がワクワクする魅力的なデザインの提案を行っておられます。 今回は、「授業内容の理解を助ける ICT 活用と障害種に応じた指導の充実につながる ICT 活用」と題して、各教科の学習の効果を高めるためのタブレット等 ICT 活用について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 B (応用編)ー授業や障害による困難を改善・克服するための指導ー」の講義を兼ねています。

第 46 回 申込締切日 12/10(水)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた 「読むこと」の指導と評価 日 時：令和 7 年 12 月 17 日（水）～令和 8 年 1 月 5 日（月） 講 師：岡山大学 教授 宮本 浩治 氏 宮本 浩治（みやもと こうじ）氏は、教科教育学・初等中等教育学が御専門で、全国大学国語教育学会、日本教師教育学会等において国語教育の発展に寄与されています。中でも、2020 年には「自己探究に向かう教師のリフレクシオン『対話的自己』を観点としたカリキュラムの開発」について研究発表されています。また、岡山市内の小学校の教育課程に関して、学校教育目標の分析・類型化の研究に取り組まれています。 今回は、「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた『読むこと』の指導と評価」と題して、「読むこと」における資質・能力の育成を実現する指導と評価の在り方、言葉による見方・考え方を働かせる学習過程を重視した授業づくりについて御教示いただきます。 なお、この公開講座は「(中) 国語科授業実践講座－『読むこと』の授業づくり－」の講義を兼ねています。
第 47 回 申込締切日 12/12(金)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：数学的活動を通した主体的・対話的で深い学び 日 時：令和 7 年 12 月 19 日（金）～令和 8 年 1 月 5 日（月） 講 師：京都女子大学 教授 坂井 武司 氏 坂井 武司（さかい たけし）氏は、算数・数学教育を御専門とされており、日本とシンガポールの数学教育の比較研究や iPad 等のテクノロジーを活用した中学校数学科の教材開発等の研究を通して、日本の数学教育の発展に寄与されています。 子ども達が、既習内容を活かしつつ数学的な見方・考え方を活用し、授業が奥深く楽しいと感じるような教材の本質に迫る授業を大切にされています。また、数学が好きな子を育てるためには、教員を育てることが大事であるという考えのもと、教員の資質向上や授業実践力向上にも尽力されています。 今回は、「数学的活動を通した主体的・対話的で深い学び」と題して御教示いただきます。 なお、この公開講座は、「(中) 数学科授業実践講座－『図形』領域の授業づくり－」の講義を兼ねています。
第 48 回 申込締切日 令和 8 年 1/29(木)	【オンライン (VOD) による受講となります。】 演 題：演劇で学ぶコミュニケーション 日 時：令和 8 年 2 月 5 日（木）～2 月 19 日（木） 講 師：芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ 氏 平田 オリザ（ひらた おりざ）氏は、日本を代表する劇作家であり、国際基督教大学教養学部にて在学中に「青年団」を立ち上げられ、卒業後は演劇活動のほか、演劇教育は対話の力を付けると考え、小学校から大学まで、全国各地の教育現場で演劇ワークショップの授業を続けてこられました。令和 3 年に演劇やダンスの実技と観光が本格的に学べる公立の専門職大学として日本で初めて豊岡市に開学した兵庫県立芸術文化観光専門職大学の初代学長に就任されました。 今回は、「演劇で学ぶコミュニケーション」と題して御講義いただくとともに、演習を通して演劇的手法を用いたコミュニケーション能力向上について御教示いただきます。 なお、この公開講座は「演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座－児童生徒のコミュニケーション能力を育み、表現力を磨く－」の講義・演習を兼ねています。

